

令和 8(2026)年度 会計専門職研究科 11 月入試

試験科目名:簿記

【出題意図】

会計専門職研究科は、公認会計士・税理士等という会計専門職業人の育成を目的とした研究科であり、本研究科において会計理論や会計制度と専門家として深く理解するためには、企業における言語の基礎となる複式簿記の知識があることが必要不可欠の条件となる。そこで入試問題としては、日本商工会議所主催の簿記検定試験 2 級で出題されるレベルの株式会社の簿記が理解できているか否かを確認するための問題を出题している。

問 1(配点 50 点)

企業が現実に行った活動(取引)を複式簿記の帳簿に記帳するためには、取引の内容を適切に解釈し、記録を行うべき勘定科目を決めなければならない。そのための作業が仕訳である。問 1 では企業が実施した具体的な取引を示して、その内容を適切に解釈し、帳簿に記入すべき内容を適切に決定することができるか否かを問うている。

問 2(配点 50 点)

帳簿の内容から企業経営に必要な情報を得るためには、単に記帳を行うだけでなく、記帳された内容を集計しなければならない。また、記帳された内容を事実と突き合わせて、記帳内容の修正を行うことも必要になる。そして、企業の業績として当期純利益の計算が行われる。そのための手続きが決算である。本問では、決算の手続きを 1 つにまとめた精算表を作成させることで、決算の手続きを適切に行い、適正な当期純利益を計算することができるか否かを問うている。

会計専門職研究科
令和8(2026)年度 11月入学試験問題

【簿記】
解 答

【1】

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	当座預金	30,000	未払金	30,000
2	当座預金	98,500	受取手形	100,000
	手形売却損	1,500		
	保証債務費用	3,000	保証債務	3,000
3	売上	600	売掛金	600
4	現金	45,000	売上	42,000
			返金負債	3,000
5	貸倒引当金	32,000	売掛金	55,000
	貸倒損失	23,000		
6	減価償却累計額	108,000	車輛運搬具	120,000
			固定資産売却益	6,000
	車輛運搬具	150,000	未払金	132,000
7	減価償却費	4,320	減価償却累計額	4,320
8	現金	5,000	有価証券利息	7,000
	投資有価証券	2,000		
9	繰延税金資産	4,400	法人税等調整額	4,400
10	仕入	6,000	買掛金(または支店)	6,000
	支店	6,600	支店へ売上	6,600

<説明>

- 未渡小切手を当座預金 a/c の残高に戻し入れる。ただし、広告費の計上を取り消してはいけない。未払いの費用があるものとして、未払金を計上する。
- 割引手数料は手形売却損として計上する。手取額：100,000円－1,500円＝98,500円
保証債務の時価は額面の3% 保証債務：100,000円×3%＝3,000円
当期中に受け取った手形なので、貸倒引当金は計上されていない。
- 品違いによる返品は売上を減額する。
- 返品権を付与しているので、見込まれる返品分の売価(@150円×20個＝3,000円)は返金負債として計上し、売上の金額からは除外する。

5. 前期の販売から生じた部分は貸倒引当金と相殺し、当期分(55,000円-32,000円=23,000円)の貸倒れは貸倒損失とする。

6. 下取り価格は売却した車輛の売却損益に反映させる。

固定資産売却益: 18,000円 - (120,000円 - 108,000円) = 6,000円

新規に購入した車輛は、あくまでも購入価格(150,000円)で計上する。

未払金の金額は 購入代金 - 下取価格 = 150,000円 - 18,000円 = 132,000円

7. この資産の X3 年度末までの減価償却表は以下のようになる。(償却率 $1/5 \times 2 = 0.4$)

	期首帳簿価額	減価償却費	減価償却累計額	期末帳簿価額
X1 年度	40,000	16,000	16,000	24,000
X2 年度	24,000	9,600	25,600	14,400
X3 年度	14,400	5,760	31,360	8,640

したがって、X4 年度の期首帳簿価額は 8,640 円となるが、この金額に償却率(0.4)を乗じた金額は(8,640円 \times 0.4 = 3,456円)は取得原価(40,000円)に保証率(0.10800)を乗じた金額(40,000円 \times 0.10800 = 4,320円)を下回る。それゆえ、X4 年度の減価償却費は期首帳簿価額(8,640円)に改訂償却率(0.500)を乗じた金額(8,640円 \times 0.500 = 4,320円)となる。

8. 投資有価証券の購入価額 500,000円 \times 98円/100円 = 490,000円

定額法による償却原価法を採用しているので、額面価額と購入価額との差額を償還日までの5年間にわたって毎年一定額を有価証券利息として計上し、社債の帳簿価額に加算する。

(500,000円 - 490,000円) \div 5 = 2,000円

また、利札に対する有価証券利息は 500,000円 \times 1% = 5,000円

期限到来後の利札は現金として扱うので、利札利息の相手勘定は現金 a/c となる。

有価証券利息 2,000円 + 5,000円 = 7,000円

9. 損金不算入額は、将来における損金となり、将来の税額を減額する効果があるので、税効果額を繰延税金資産として計上する。課税所得計算に含まれている金額についての税効果なので、相手勘定は法人税等調整額となる。

税効果額(繰延税金資産) (6,000円 + 5,000円) \times 40% = 4,400円

10. 支店独立会計制度の下では、支店による直接仕入れは、本店が仕入先から仕入れを行い、仕入れた商品を支店に積送したのとして記帳する。したがって、まず本店により仕入取引を記帳し、次いで本店から商品への積送を記帳する。積送にあたっては、原価の10%の利益を加算した金額(6,000円 + 6,000円 \times 10% = 6,600円)を支店へ売上 a/c に記帳する。

なお、本店での仕入取引の記帳にあたっては、相手勘定として仕入勘定を用いた仕訳も認める。ただし、この場合には支店側で「(借)本店 6,000 (貸)買掛金 6,000」の記帳が必要になる。

【2】

未処理事項

1. 配当金額収書は現金として記帳する。

1	現 金	2,500	受 取 配 当 金	2,500
---	-----	-------	-----------	-------

2. 未通知の処理

2	当 座 預 金	45,000	受 取 手 形	45,000
---	---------	--------	---------	--------

3. 売上値引の処理(売上取引の取り消し)

3	売 上	3,000	売 掛 金	3,000
---	-----	-------	-------	-------

決算整理事項

1. 受取手形 a/c 残高: 80,000 円 - 45,000 円 = 35,000 円

売掛金 a/c 残高: 337,500 円 - 3,000 円 = 334,500 円

回収不能見込額: (334,500 円 + 35,000 円) × 3% = 11,085 円

貸倒引当金繰入: 11,085 円 - 8,250 円 = 2,835 円

1	貸倒引当金繰入	2,835	貸 倒 引 当 金	2,835
---	---------	-------	-----------	-------

2. 期末商品帳簿棚卸高: 500 個 × @98 円 = 49,000 円

棚卸減耗損: (500 個 - 460 個) × @98 円 = 3,920 円

商品評価損: 460 個 × (@98 円 - @96 円) = 920 円

2	仕 入	55,000	繰 越 商 品	55,000
	繰 越 商 品	49,000	仕 入	49,000
	棚 卸 減 耗 損	3,920	繰 越 商 品	3,920
	商 品 評 価 損	920	繰 越 商 品	920

3. D 社株式: 取得原価で評価

E 社株式: 実質価値の下落に伴う評価損の計上

実質価値 980,000 円 × 20% = 196,000 円

有価証券評価損 1,200 株 × @400 円 - 196,000 円 = 284,000 円

3	有価証券評価損	284,000	関 連 会 社 株 式	284,000
---	---------	---------	-------------	---------

4. 減価償却費の計算

車輛運搬具: 460,000 円 × 5,000km / 200,000km = 115,000 円

建物: 884,400 円 ÷ 40 年 = 22,110 円

減価償却費: 115,000 円 + 22,110 円 = 137,110 円

4	減 価 償 却 費	137,110	車輛運搬具減価償却累計額	115,000
			建 物 減 価 償 却 累 計 額	22,110

5. 保険料 前払分 X3 年 4 月 1 日 ~ X3 年 8 月 31 日 5 か月

60,000 円 × 5 / 12 = 25,000 円

5	前払保険料	25,000	保 險 料	25,000
---	-------	--------	-------	--------

6. 長期借入金 利息: $375,000 \text{ 円} \times 3\% = 11,250 \text{ 円}$

未払分 X3年2月1日~X3年3月31日 2か月

未払利息 $11,250 \text{ 円} \times 2/12 = 1,875 \text{ 円}$

6	支 払 利 息	1,875	未 払 利 息	1,875
---	---------	-------	---------	-------

7. 地代 前受分 X3年4月1日~X3年10月31日 7か月

$180,000 \text{ 円} \times 7/12 = 105,000 \text{ 円}$

7	受 取 地 代	105,000	前 受 地 代	105,000
---	---------	---------	---------	---------

精 算 表

	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	69,800		2,500				72,300	
当座預金	94,500		45,000				139,500	
売掛金	337,500			3,000			334,500	
受取手形	80,000			45,000			35,000	
繰越商品	55,000		49,000	55,000			44,160	
				3,920				
				920				
車輦運搬具	460,000						460,000	
建物	884,400						884,400	
土地	950,000						950,000	
関連会社株式	680,000			284,000			396,000	
買掛金		70,000						70,000
長期借入金		375,000						375,000
貸倒引当金		8,250		2,835				11,085
車輦運搬具減価償却累計額		276,000		115,000				391,000
建物減価償却累計額		420,090		22,110				442,200
資本金		1,800,000						1,800,000
繰越利益剰余金		212,500						212,500
売上		3,110,000	3,000			3,107,000		
受取地代		180,000	105,000			75,000		
仕入	2,130,000		55,000	49,000	2,136,000			
給料	650,640				650,640			
保険料	60,000			25,000	35,000			
	6,451,840	6,451,840						
(受取配当金)				2,500		2,500		
貸倒引当金繰入			2,835		2,835			
棚卸減耗損			3,920		3,920			
商品評価損			920		920			
有価証券評価(損)			284,000		284,000			
減価償却費			137,110		137,110			
(前払)保険料			25,000				25,000	
支払利息			1,875		1,875			
(未払)利息				1,875				1,875
(前受)地代				105,000				105,000
当期純 (損失)						67,800	67,800	
			715,160	715,160	3,252,300	3,252,300	3,408,660	3,408,660

太字 各 2 点、当期純損失(含:科目名) 2 点、貸借合計の一致 2 点